

地域支援ネット架け橋

ニュースレター 1月号

くすぶる灯芯を消すこともなく

2018年1月28日 発行 No.20

傷んだ葦を折ることもなく、くすぶる灯芯を消すこともなく、
真実をもってさばきを執り行う。

イザヤ書 42 章 3 節

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は格別のご温情を頂きまして誠にありがとうございました。
兄弟姉妹のご健康が守られ、恵みあふるゝ年になります様にお祈りしております。

中澤竜生

スタッフ一同

スタッフからお祈りのお願い

2017 年は「仮設閉鎖」から「復興住宅移動」へ切り替わり、2016 年よりも南三陸町へ通う回数が多い年となりました。それと同時に、健康に留意する年となるよう努めてまいりました。
ですが、本人の Facebook にも載せましたが、昨年末より中澤竜生師の目に問題が出たため、運転に支障をきたすと判断し、現在は片道 3 時間かけて向かう訪問を休んでいます。その分、休養と通院を心がけ、目だけではなく他の箇所の治療にも専念しています。
ご心配をおかけしますが、お祈りのほど宜しくお願いします。

宣教の働き ①今年の初めに

元日の午後、S氏より電話が来て、彼は「まことに、あなたがたに告げます。だれでも、この山に向かって、『動いて、海に入れ』と言って、心の中で疑わず、ただ、自分の言ったとおりになると信じるなら、そのとおりになります。マルコによる福音書 11 章 23 節」と聖書の御言葉を読み上げ、続けて「中澤さん、良いことばだね」と言いました。「本当ですね。アーメンですね」と私が言うと、S氏も「アーメン」と言って電話を切りました。

彼はまだ洗礼は受けていませんが、南三陸町の光塩キリスト教会で休まず礼拝をささげています。このような声を聞くことができ、活動してきて良かったと思えるスタートになりました。



②実りの確かさ＜宣教を宣証と名付け、福音を広げる＞

信仰は続けることが肝心です。一時的に信心を持っても、継続性がない信仰はむなしく悲しいものです。なぜ信仰を持ち続けられないのでしょうか。私は「信頼」「関係性」がキーワードだと思っています。信仰はその二つの取組から育まれていきます。

信仰が続かない大きな理由は「躓く」ことです。これは本人の思い（感情）が悲しい、辛い、痛い、苦しいなどの状況が継続した時、特に自分本位に達した時、躓くという表現が確立します。これではどんなことも持続できません。

一方で感情が上記のように落ち込んでも自分本位に向かず、神様と向き合えばどうでしょうか？裁くように教えるのでしょうか？私を知る多くの宗教は慈悲であり、赦しを教えています。躓いても「信頼」を修復するための徳を見据え、労苦が伴っても回復できるようにします。そして、それができるのは信頼を構築する「関係性」だと確信します。

このようにして信仰の継続はできますが、「養う日常」なくして継続することはできません。つまり御利益信仰だけの伝え方では「信頼」と「関係性」は乏しくなるのです。クリスチャンである私は、救いの尊さを知ってもらうために二つのキーワードを大切にしています。同時に私にとって足りないことでもあるため、自分を戒めつつ取り組むつもりです。



③宣証は次の段階へ

地域支援ネット架け橋は、光塩キリスト教会との連携で「宣証の実現」を目指しております。光塩キリスト教会の牧師は李遇英（イ・ウヨン）氏です。奥様の智恵（チエ）さんと子どもが3人います。

李氏は南三陸町志津川に引っ越し、既に2年が経ちました。今は復興住宅に入居しています。光塩キリスト教会は志津川にある公の施設を利用しながら礼拝をささげて1年が経ちます。現在約15～20名の方が礼拝に参加されています。

李氏のビジョンは神様に真の礼拝をささげることです。今出席されている方々は、礼拝の大切さを身をもって学んでおります。そして「正しい礼拝」こそが信仰を養うと言います。「架け橋」は種を蒔きますが、李氏は刈り取りをしているのです。

文責：中澤竜生



南三陸 3.11 東日本大震災追悼記念会のご案内

「宮城三陸 3.11 東日本大震災追悼記念会準備委員会」では、今年 3 ヶ所に分けて追悼会セレモニー「愛と希望のコンサート」を開催します。その前日には、南三陸町にある「ホテル観洋」において合同追悼会セレモニーが行われます。セレモニーには豪華アーティストが出演して下さいます。アーティストの皆様は日頃より被災地を覚え、避難所や仮設の時から今現在もイベントを継続し、愛と希望を提供して下さっています。今回も快く了承して下さり、アーティストの皆様も自費にて参加して下さいます。さらにはホテル観洋もお手伝いして下さっています。私たち「追悼会メンバー」も当日を偲ぶにふさわしい準備をしていくつもりです。是非覚えてご参加ください。

愛と希望のコンサート

大震災を覚える追悼記念会

この日、「愛と希望」を奏でる音楽とともに追悼のひと時を。
悲しみを乗り越え、繋がり合い、励まし支え合いながら歩めるように。

3月10日(土)

会場

南三陸ホテル観洋

住所 宮城県吉本郡南三陸町黒崎 99-17

時間

12:30~15:00

～コンサート出演アーティスト～

・小坂 忠

・森 祐理

・Migiwa

・上原 令子

入場無料

主催：宮城三陸 3.11 東日本大震災追悼記念会準備委員会
共済：南三陸ホテル観洋

愛と希望のコンサート

3月11日(日)

午後1時半 開場
午後2時 開演
入場無料

2011年の大震災を覚え、あたらしい歩みをはじめるときに、愛と希望の歌を、午後開演のデザインと共に聴く。明日への希望をあなたに。どなたでもご参加いただける、心温まるコンサートです。特設の会場を心からお待ちしております。

会場

気仙沼第一聖書バプテスト教会

(国道45号線、気仙沼市内から陸上方面へ、最月バス停そば)
宮城県気仙沼市最月堂227-3
電話：0226-27-5192 090-7332-8476

主催：宮城三陸 3.11 東日本大震災追悼記念会準備委員会

愛と希望のコンサート

日時2018/3/11(日)開場13:30開演14:00

場所 The Rock(石巻市渡波根岸154-3) 入場無料

この日、「愛と希望」を奏でる音楽と共に追悼のひと時を。
悲しみを乗り越え、繋がり合い、励まし支え合いながら歩めるように。

小坂忠
Chuji Sakaka

上原令子
Reiko Uehara

主催：宮城三陸 3.11 東日本大震災追悼記念会準備委員会
お問い合わせ 0202-3309-1301(全線)

愛と希望のコンサート

この日、「愛と希望」を奏でるMIGIWAさんの音楽と共に、追悼のひと時を。 悲しみを乗り越え、繋がり合い、励まし支え合いながら歩めるように。

MIGIWA (みぎわ)

神奈川生まれ。シンガーソングライター。中津、高校で音楽科になる。2001年、エス・エス・エスとして活動を開始。2005年、「ゴダイゴのカラオケ3部作」をサポートを受けアルバム「響く言葉」をリリース。この日のコンサートはMIGIWAさんアーティスト・サポート・コンサート。11年、12年、アルバムをリリース。11年の東日本大震災直後から「東文芸復興支援」を立ち上げ、東北各地に巡回公演し、現在は、被災地支援への活動が続いている。

日時：3/11(日)14:00~15:30

会場：イエス福音教団 宮城教会
豊米市米山町板岡今泉162-2
電話：0220-55-3666

入場無料

主催：宮城三陸 3.11 東日本大震災追悼記念会準備委員会

架け橋スタッフより献金のお願い

いつも地域支援ネット架け橋と活動に従事する中澤竜生のためにお祈りくださり、心より感謝申し上げます。皆さまからの祈りがありまして昨年も活動を継続することができました。その活動の中で私は南三陸町の復興住宅に入られる地域住民の皆さんから、新しい自治会の人間関係や復興地域の隔たりのことなどについて心の声を聞くことができました。「新しい暮らしは快適だけでも、なにせ田舎なうえに新しい人もいっから人付き合いに苦労すんだ。両隣の部屋に誰がいるのかも分からないね。」「同じ地区に戸建住宅と集合住宅があるけども、集会所は家持とアパートで別々にされている。家持の人たちは私たちを遠ざけたいのか。」

本来ならローカルな場所であればこそコミュニケーションは重要ですが、新しい場所に移ってからは隣同士の付き合いが薄くなったようです。しかし、私が竜生氏に同行して目にするものは、多くの地域住民と竜生氏が友達のように親しげに接する姿でした。それは震災当初から続く関係や竜生氏の魅力が活きているとも考えますが、何よりも誰と会っても誠実に向き合い、大小関係なく課題へ取り組む姿勢が深い関係を築く要になっているのでしょう。まさにその姿がキリストの香りを放っているのだと思わされました。また、地域全体に福音を携えて仕える場面を見たときに、それは地域まるごとイエス・キリストの証を伝えています。これが宣証なのだと理解したときに、この活動が撤退することはありませんと感じました。

竜生氏の宣証の活動を守るために必要な年間活動費は 300 万円です。毎年の必要分が満たされるように、また地域支援ネット架け橋の支援の輪が広がるように呼びかけてくださると感謝であります。（活動の費用内訳については会計ページを是非ご覧ください。）

スタッフ一同

尊いご支援を心から感謝いたします。

前回繰越金：0 円

献金収入：500,000 円 (2017 年 12 月 1 日－2017 年 12 月 31 日)

ご献金を捧げて下さった団体様および個人様 (敬称省略 順不同)

船堀グレースチャペル、ナガナワシュンイチロウ、田島幸児、サンタプロジェクト九州、サトウユキオ、伊勢原聖書キリスト教会、金原雅子、アイジエル広島福音教会、基督聖協団仙台宣教センター

献金支出：453,000 円 (2017 年 12 月 1 日－2017 年 12 月 31 日)

車両交通費 230,000 円 (車両経費含む)、事務費、通信費 35,000 円、啓蒙活動費 0 円、ネットワークサポート、慶弔費 1,000 円、茶話会 (Cafe) 地域／自治会コミュニティ支援費 53,000 円、年中行事支援 10,500 円、困りごと支援 20,000 円、雑費 3,500 円、架け橋スタッフ費 100,000 円

次回繰越金：47,000 円

－ ご協力のお願い －

銀行名 : 七十七銀行 宮城町支店
口座番号 : 普通 5497795
名義 : キリスト聖協団西仙台教会かけはし会計 中澤佳子

ゆうちょ銀行口座名義 : 地域支援ネット架け橋 (チイキシエンネットカケハシ)
店名 : 二二九店 (ニニキュウ) (229)
口座の記号・番号 : 02290－3－141031
当座 : 0141031

PayPal (ペイパル) を利用してクレジットカードの支払いができます。

* これにより海外より応援して頂く事も可能です。

PayPal 検索用アドレス : yoshiko.n36@gmail.com

事務局 : 地域支援ネット架け橋
所 在 : 宮城県仙台市青葉区愛子東 3-14-22
電 話 : 090-1069-3925
事務スタッフ : 中澤佳子
発行元 : 山形県天童市三日町 2 丁目 6-14 牧師館 2 階

